

重点課題に基づくプロジェクト（平成28年度～平成30年度）フォローアップ
アドバイザーからの最終的な助言（各プロジェクト個別事項）

資料1-3-2
科学技術イノベーション政策における
「政策のための科学」アドバイザー委員会
（第12回）令和元年12月

令和元年12月

プロジェクト名	研究代表者	アドバイザーからの最終的な助言
経済社会的効果測定指標の開発	政策研究大学院大学 黒田昌裕	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、データ整備の充実やシステム開発によるSPIASの機能拡充とともに、政策担当者等の利活用を通じたフィードバックを得る等により、政策現場での利活用が活性化されるよう努めていただきたい。 また、これまでのフォローアップにおいて指摘がなされている科学的な価値とそれによって産み出される経済面を含めた社会的な価値とのつながりや関係性については、引き続き留意しつつプロジェクトを進めていただきたい。
政策のモニタリングと改善のための指標開発 （サブプロジェクト：科学技術イノベーションと社会に関する測定）	政策研究大学院大学 有本建男	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、国際協調を図りつつ、行政やファンディングエージェンシー等との意見交換、対話、調整を通じて、政策現場における具体的な利活用につなげていく取組を進めていただきたい。
イノベーションシステムを推進する公的研究機関の制度的課題の特定と改善	政策研究大学院大学 林隆之	（共通事項のみ）
国家的課題に対応した戦略的政策シナリオ及びその作成手法の開発	政策研究大学院大学 角南篤	（共通事項のみ）
政策形成プロセスの改善手法の開発 （サブプロジェクト：医療情報の共有に向けた政策形成過程の研究） （サブプロジェクト：責任ある研究イノベーションに向けた政策形成の「対話型」技法とシステムの研究）	政策研究大学院大学 森田朗	（共通事項のみ）
新しい科学技術の社会的課題検討のための政策立案支援システムの構築	大阪大学 平川秀幸	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、政策立案支援システムの政策現場での利活用が活性化されるよう努めていただきたい。 ELSIが国際的に注目されている状況を踏まえ、他国の類似の取組との比較・協力や国際的な議論への参画等も進めていただきたい。
自治体の持つ行政健康資料の可視化とその利用に向けての基盤構築	京都大学 川上浩司	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、自治体等との丁寧な意見交換や調整等を通じて、個人情報の利用に関する不安への対応を行いつつ、自治体等におけるエビデンスを活用した政策形成や利活用を進めていただきたい。 ビックデータを利活用する新たな研究手法の展開として、例えば、特定地域においてライフコースデータ全体を通じた分析を試行的に行い、その有用性を検証すること等の取組にも期待したい。
地域イノベーションに資する事例研究と科学技術政策支援システムの開発	九州大学 永田晃也	<p>【九州大学】</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、RESIDENSを活用した中央省庁や地方自治体等との意見交換や調整を通じて、RESIDENSによる行政と政策研究者間の共進化に努めていただきたい。
		<p>【一橋大学】</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、事例分析の結果に基づき、政策現場との意見交換を進めていただきたい。 新たな研究手法の提案や地域イノベーションシステムの新しい切り口によるメカニズム解明等、地域イノベーションに関する新たな政策研究につながることを期待したい。
イノベーション創出に向けた産学官連携：知識マネジメントと制度設計	東京大学 城山英明	（共通事項のみ）

※研究代表者は平成31年3月時点